

平和、暮らし、介護、医療を守ってほしい その願いを“馬場ひでゆき”へ！！



牧区でのつどい



清里区でのつどい

馬場陣営は、市内各地での小集会(つどい)を重視。各区内の市民に政策を語りながら参加を訴え、どの会場でも想定をオーバーする多くの参加で、大いに盛り上がっています。

3月25日に行われ、参加者が50人を超えた牧区でのつどいでは、元村長の中川耕平さんが応援に駆けつけ、温かい言葉でスピーチを行いました。また、同区に縁のある渡辺内科医院理事長の渡辺静一先生が応援のメッセージをよせ、会場を盛り上げました。

馬場さんは、「暮らし、介護、医療をしっかり守るのが私の仕事」「原発も軍拡もダメ。みなさんの今の暮らしこそ大事」と熱く語りました。

26日の清里区の集いにも会場いっぱいの50人近くが集まり、「農業を守ってほしい」「介護はたいへん。手厚い制度に」などの願いが出され、馬場さんを県政に送り出して暮らしを守ろうと盛り上がりました。

この盛り上がり、多くの支持約束につなげることが何よりも大切です。



「馬場押し上げ」誓い “うたごえ喫茶”も

26日には、馬場陣営に参加のみんなを歌声で盛り上げようと、特設の“うたごえ喫茶”が後援会事務所に出陣、多くの参加者が懐かしい歌に声を合わせました。

思いっきり声を出して元気が出た支援者Mさんは、その後、近所に声かけを行い、「支持は私だけ。家族はわからない」という方には、「この地区は全国注目のひとつ、全力で押し上げてください」と気持ちをしっかり伝えました。すると、「うちのにも話しますわ」と、前向きな答えが返ってきました。



「大丈夫」論に惑わされないで

他陣営などから、「馬場さんは知名度があるから大丈夫」などの話が入ってきています。

実はこれは、激しい選挙での常套手段で、敵方陣営の動きを抑えるための意図的な攪乱宣伝です。

実際には、馬場さんは高田や地元以外ではよく知られていません。何よりも6陣営の中で最も出遅れています。馬場さんへの支持約束の取りまとめ具合からみて、当選ライン到達にはまだまだです。

「大丈夫だ」の声にだまされることなく、1人、2人、3人、5人と応援者を増やしましょう。

上越保健所管内新型コロナウイルス感染症

感染者発生状況 (3月26日現在)

3/19~3/25

感染者総数 226人(前週+32)

1日平均 32.3人(前週+4.6)

日本共産党上越市後援会ニュース

議員団版 2023年4月2日 <部内資料>

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)

絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)

先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))